

## 令和3年度 八幡市商工会 経営発達支援事業実績と評価

計画で必要とされる事業内容	八幡市計画における取組の概要（期間5年）	令和3年度実施事業（P）と実績（D）※注	定量的評価（C）	定性的評価（C）と今後の方向（A）
<p>①地域の経済動向調査</p> <p>・小規模事業者に対して的確な支援を行うため、地域の経済・消費動向を把握し、そのための情報収集・分析、成果の提供を行う、</p>	<p>①-1 小規模事業者に対するヒアリングによる市内経済等動向調査</p> <p>・6業種別（卸売業・小売業、サービス業、製造業、飲食サービス業、建設業、運輸業）各10社を選定し、業況、在庫、取引先等をヒアリング</p> <p>・令和3年度目標：60社</p> <p>①-2 中小企業白書等の分析による地域経済動向調査</p> <p>・中小企業白書等のデータを活用し、小規模事業者の事業計画策定や販路開拓支援を実施</p> <p>①-3 商工会内で「フィードバックミーティング」を定期的に開催。経営支援員間の情報共有と能力向上を図る。</p> <p>①-4 調査・分析結果は商工会のホームページ等で事業者へ情報提供・周知</p>	<p>①-1 小規模事業者ヒアリングによる市内経済等動向調査</p> <p>・調査期間：令和3年11月～12月</p> <p>・事業所数：60社</p> <p>・業種：卸売業・小売業、サービス業、製造業、飲食サービス業、建設業、運輸業</p> <p>①-2 中小企業白書等の分析による地域経済動向調査</p> <p>・調査期間：令和3年11月～令和4年2月</p> <p>・業種：製造業、建設業、商業・サービス業</p> <p>・調査委託：（一社）京都府中小企業診断協会</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>①-1 60事業所に調査依頼を行い、49事業所から回答を得て、集計を行った。</p> <p>①-2 （一社）京都府中小企業診断協会に委託を行い、製造業、建設業、商業・サービス業の動向調査を行った。</p> <p>①-4 調査分析結果を商工会ホームページにて公表した。</p>	B	<p>①-1 巡回相談活動を強化する中で事業者へのヒアリング（聴き取り）を継続的に取り組むことができた。収集したデータは経営支援員で共有できたが、効果的な小規模事業者支援には繋がらなかった。</p> <p>①-2 経営支援員が巡回指導時の情報提供資料として活用するとともに、ホームページ上に掲載し、広く周知を行った。</p> <p>■目標Ⅲに係り、小規模事業者の具体的な育成には結びつかなかったが、調査の結果を踏まえ、次年度以降、具体的な育成策を検討する。</p>
<p>②需要動向調査</p> <p>・小規模事業者に対してマーケットインの考え方を浸透させるため、事業者の販売する商品または提供する役務の需要動向を把握し、そのための情報収集・分析、成果の提供を行う。</p>	<p>② 特産品等の認定制度構築を見据えた需要動向調査</p> <p>・供給側の対象として老舗の菓子店、茶舗、農業法人等、需要者側として50人にアンケート（ヒアリング含む）を実施。調査結果を基に新商品の開発を目指す。</p> <p>・令和3年度目標：ヒアリング対象者10人</p>	<p>② 八幡市やわたブランド創造事業の進捗に合わせ検討</p> <p>※やわたブランド名「ヤワタカラ」を商標登録</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>② コロナ禍で需要動向調査が困難になるとの判断の下、今年度は調査を実施しなかったが、八幡市のブランド創造事業に参画し、ブランド創造と認定品選定を行い、「ヤワタカラ」の商標の登録を行った。（八幡市と権利を共有）</p>	C	<p>② 八幡市のブランド品の認定に向けた事業は実施できたが、需要動向調査はできなかった。</p> <p>■目標Ⅳに係り、八幡市のブランド認定された商品等の需要動向調査を次年度以降実施し、観光消費額の増大に向けた取組策を検討する。</p>
<p>③経営状況の分析</p> <p>・事業計画策定に向けて、事業者の財務状況、強み・弱み等の状況を把握し、そのための分析、分析結果の提供を行う。</p>	<p>③-1 経営支援員による巡回・窓口相談対応時の経営分析調査（財務、SWOT等）</p> <p>・令和3年度目標：24件</p> <p>③-2 事業計画策定セミナーによる経営分析</p> <p>・令和3年度目標：セミナー開催1回 10人参加</p> <p>③-3 分析結果の活用</p> <p>・調査対象事業者への提供及び商工会内でデータベース化</p>	<p>③-1 巡回・窓口対応時に調査。結果をBIZミルに登録・活用</p> <p>③-2 事業計画策定セミナー開催</p> <p>・実施日：令和3年11月18日（木）</p> <p>・事業計画策定個別相談会：11月24日（水）、12月10日（金）、12月16日（木）</p> <p>※事業実績</p> <p>③-1 10件の経営分析を行った。</p> <p>③-2 事業計画策定セミナー 1回開催 参加事業所8社、参加人数9名</p>	C	<p>③-1 BIZミル等を活用することにより、事業再構築補助金や小規模事業者持続化補助金の申請にも繋がった。</p> <p>③-2事業計画策定セミナーにおいて計画策定の重要性について理解が深まった。</p> <p>■目標Ⅲに係り、経営発達支援計画では事業計画の進捗をフォローしていく必要があることから、（次項目⑤による）計画に従い、経営に「強み」を引き出せるような支援策を検討する。</p>
<p>④事業計画策定支援</p> <p>・「地域の経済動向調査」や「経営状況の分析」及び「需要動向調査」の結果を踏まえ、需要を見据えた事業計画の策定を支援する。</p>	<p>④ ③-2による事業計画セミナー終了後、意欲ある事業者に対しヒアリングを実施。事業計画策定まで伴走支援を行う。</p> <p>・令和3年度目標：事業計画策定者数8件</p>	<p>④ 事業計画策定セミナー開催（再掲）</p> <p>・実施日：令和3年11月18日（木）</p> <p>・事業計画策定個別相談会：11月24日（水）、12月10日（金）、12月16日（木）</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>④ 事業計画策定個別相談会（上記の日程のとおり）</p> <p>参加事業所8社、参加人数10名</p> <p>セミナーによる事業計画策定 8社（うち事業再構築補助金採択1社）</p> <p>巡回等、セミナー以外による事業計画策定 5社 合計13社</p>	A	<p>④事業計画策定個別相談会</p> <p>事業計画書を講師に確認しながら、課題及び課題解決策の検討を進め、計画策定に至ることができた。また、今後、事業計画を作成予定の事業所に対しては、ビジョンを聞き取った上で質問に丁寧に回答いただきながら、策定を進めている。</p> <p>■目標Ⅲに係り、経営発達支援計画では事業計画の進捗をフォローしていく必要があることから、（次項目⑤による）計画に従い、経営に「強み」を引き出せるような支援策を検討する。</p>

※注 5年の計画期間中に実施する取組の中で、令和3年度に実施するとした事業を記載しています。

計画で必要とされる事業内容	八幡市計画における取組の概要	令和3年度実施事業（P）と実績（D）	定量的評価（C）	定性的評価（C）と今後の方向（A）
<p>⑤事業計画策定後の支援</p> <p>・事業計画の策定後、策定した事業計画の進捗状況を確認するとともに、売上、利益等の経営指標の推移を把握するために必要な支援を実施する。</p>	<p>⑤-1 新規に事業計画を策定した事業者を定期的に巡回し、フォローアップを行う。計画と進捗のズレがある事業者は外部専門家の支援を受ける。</p> <p>・令和3年度目標：8社（訪問延べ96回）・利益率2%増の事業者3社</p> <p>⑤-2 事業計画策定事業者の経営指導カルテを作成し、商工会職員全体でフォローアップできる体制を構築する。</p>	<p>⑤-1 経営支援員のフォローアップ巡回</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑤-1, ⑤-2とも、事業計画策定が年度末近くとなり、経営支援員による事業者への実質的なフォローが実施できず、支援回数が目標96回に対し、38回であった。</p>	C	<p>■目標Ⅲに係り、経営発達支援計画では事業計画の進捗をフォローしていく必要があることから、計画の進捗状況等の確認の為、2年目は最低四半期に1回、フォローを行っていく。</p>
<p>⑥新たな需要の開拓に寄与する事業</p> <p>・多様な顧客のニーズに合った商品・サービスを提供・発信する機会を増大させるため、商談会、展示会、即売会等の開催や出展支援、ネット販売を通じた販路開拓の支援を行う。</p>	<p>⑥-1 展示会、物産展、イベント等への出展による販路開拓支援</p> <p>・「中信ビジネスフェア」、「けいはんなビジネスメッセ」等への出展支援や販路開拓専門家の派遣、販路開拓セミナーを開催</p> <p>・令和3年度目標：専門家の派遣5件、セミナーの開催1回、出展支援2件</p> <p>⑥-2 ビジネス交流会等販路開拓支援</p> <p>・業務連携を図る機会として交流会の開催や近隣商工会等との合同による異業種交流会（「業コン」）を開催</p> <p>・令和3年度目標：ビジネス交流会2回 30人参加</p>	<p>⑥-1</p> <p>・販路開拓セミナーの開催：令和3年9月17日（金）</p> <p>・専門家の派遣（展示会個別相談会）の実施：令和3年9月29日（水）</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑥-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会セミナー1回 参加事業所4社、参加人数4名</li> <li>・展示会個別相談会 参加事業所2社、参加人数2名</li> <li>・中信ビジネスフェア2021へ1社が出展</li> <li>・第3回京都インターナショナルギフトショー2022へ1社が出展</li> </ul>	B	<p>⑥-1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会セミナー：展示会の基本についてわかりやすく解説し、受講生からも好評を得た。</li> <li>・展示会個別相談会：事業所を訪問し、展示会出展についての個別相談会を行った。</li> </ul> <p>■目標Ⅱ、Ⅲ、Ⅳに係り、八幡市のブランド認定された商品等や優れた技術等製品の販路拡大を目指し、大都市圏（関東圏、中京圏等）で開催される展示会等に積極的に参加していく。</p>
<p>⑦事業の評価及び見直しをするための仕組み</p> <p>・経営発達支援計画事業の実施に伴い、定期的に事業の評価及び見直し等を行う。</p>	<p>⑦-1 協議会組織の設立</p> <p>・市内の行政、経済団体、金融機関、外部専門家等からなる「八幡市地域活性化協議会（仮称）」を組織し、その中で事業評価を行う機能を持たせ、計画の進捗管理と評価を行う。評価結果は理事会にフィードバックした上で、ホームページに掲載。</p> <p>⑦-2 職員による確認作業</p> <p>・経営発達支援計画に記載した目標を「予定管理表」に落とし込み、毎月支援員会議を開催し進捗と成果を報告。</p>	<p>⑦-1 事業検討・評価委員会設置と評価の実施（PDCAの確立）</p> <p>・八幡市地域活性化協議会（仮称）準備会の開催</p> <p>⑦-2 経営支援員会議の開催（毎月1回）</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑦-1 経営発達支援計画事業検討・評価委員会を設置（委員長：中小企業診断士、委員：7人）。11月4日に第1回委員会を開催</p> <p>・同委員会に八幡市地域活性化協議会（準備会）として位置付け委員会と同時開催</p> <p>⑦-2 経営支援員会議を毎月1回開催、支援計画事業の進捗を情報共有</p>	C	<p>⑦-2 経営支援会議は定期的に開催できたが、予定管理表の作成ができていない。</p> <p>■目標Ⅰ～Ⅳに係り、経営発達支援計画の重点事項である「八幡市地域活性化協議会（仮称）」設立に向けた取組を進める。また、経営支援員間の情報共有を促進するため、予定管理表の作成を義務付け、支援の「見える化」を進める。</p>
<p>⑧経営支援員等の資質向上</p> <p>・経営支援員の支援能力向上と支援ノウハウの組織内での共有、組織のレベルアップに取り組む。</p>	<p>⑧-1 外部講習会等の積極的活用</p> <p>⑧-2 OJT制度の導入</p> <p>⑧-3 職員間の定期ミーティングの開催</p> <p>⑧-4 支援内容のデータベース化</p> <p>⑧-5 京都府商工会連合会との情報共有</p>	<p>⑧-3 職員間の定期ミーティングの開催</p> <p>・経営支援員会議の開催（毎月1回）（再掲）</p> <p>⑧-4 支援内容のデータベース化</p> <p>・基幹システムに相談内容を入力し、全職員が共有</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑧-1 連合会及び会議所主催の研修会に積極的に参加し、研修内容の報告及び資料の共有を行った。</p> <p>⑧-3 毎月1回経営支援員会議を開催</p> <p>⑧-4 経営支援員が基幹システムに相談内容を入力、データベース化することができた。</p>	B	<p>■目標Ⅰ～Ⅳに係り、経営支援員の資質向上と情報共有に関するOJT制度の構築を検討する。</p>
<p>⑨他の支援機関との連携を通じた情報交換</p> <p>・経営発達支援事業を効率的かつ円滑に実施するため、他の支援機関や専門家等との間で、支援ノウハウの情報交換等を行う。</p>	<p>⑨ 八幡市地域活性化協議会（仮称）の設立</p> <p>・商工会が主宰し、市域の商工業振興の課題の深掘り、活性化の方策や支援方法の立案、ノウハウの伝授・交換等、構成機関・団体相互の意見交換・意思疎通を図る。</p>	<p>⑨ 八幡市地域活性化協議会（仮称）準備会の開催（再掲）</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑨ 経営発達支援計画事業検討・評価委員会を設置。同委員会に八幡市地域活性化協議会（準備会）として位置付け委員会と同時開催（再掲）</p>	C	<p>■目標Ⅰ～Ⅳに係り、経営発達支援計画の重点事項である「八幡市地域活性化協議会（仮称）」設立に向けた取組を進める。</p>
<p>⑩地域経済の活性化に資する取組</p> <p>・小規模事業者の経営の改善発達には地域経済の活性化と不可分であることに鑑み、地域の総合的経済団体として行う事業。</p>	<p>⑩-1 八幡市地域活性化協議会（仮称）の開催</p> <p>⑩-2 「まちゼミ」の開催</p> <p>⑩-3 「異業交流会（業コン）」の開催</p>	<p>⑩-1 八幡市地域活性化協議会（仮称）準備会の開催（再掲）</p> <p>⑩-2,3 まちゼミ・業コンは新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>◆ 事業実績</p> <p>⑩-1 経営発達支援計画事業検討・評価委員会を設置。同委員会に八幡市地域活性化協議会（準備会）として位置付け委員会と同時開催（再掲）</p>	C	<p>■目標Ⅰ～Ⅳに係り、経営発達支援計画の重点事項である「八幡市地域活性化協議会（仮称）」設立に向けた取組を進める。</p> <p>■コロナ禍の状況も見ながら、まちゼミ・業コンの開催を検討</p>

【事業実績評価基準】

<定性的評価>

○ 経営発達支援計画の目標項目に係る評価と次のアクション

目標Ⅰ：事業承継者の持続的発展

目標Ⅱ：創業、第二創業支援による新規小規模事業者の定着

目標Ⅲ：「強み」を活かした経営に取り組む小規模事業者の育成

目標Ⅳ：観光入込客数に見合った観光消費額の増大

<定量的評価>

○ 各事業項目の目標値の達成状況で評価

評価A：目標を達成することができた（95%以上）

評価B：目標を概ね達成することができた（80～94%）

評価C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30～79%）

評価D：目標を殆ど達成することができなかった（30%未満）